

地域の安全・安心を目指して

美郷町消防団が再編されます

消

防団は、地域における消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わず地域に密着し、住民の安心と安全を守るという重要な役割を担っています。

現在、美郷町消防団は14分団で組織され、それぞれが受け持ち区域を中心に活動をしています。近年の消防団員数の減少から、人手が不足する分団も多くなっています。

このたび、団員の確保と消防力の強化を目的に、平成26年4月より、消防団を14分団から9分団へ再編することになりました。

美郷町消防団の現状

団員数と年齢構成

3ページのグラフ1は、美郷町消防団員数の推移を示しています。平成26年1月1日現在の団員数は400人であり、平成20年より24人減少しています。また、条例定員数448人に対する充足率は89・2%となっており、1割以上の定員割れが発生しています。

3ページのグラフ2は、平成26年1月1日現在の団員の年齢構成を示しています。30歳未満の団員が4・75%であるのに対して、60歳以上は18・5%、50歳以上になると54・25%と半数以上を占めるなど、団員の高齢化が進んでいます。幹部未満の団員の定年が65歳であることから、今後さらなる団員数の減少が見込まれます。

平日の日中に活動可能な団員の減少と団員数の格差

団員の約7割が被雇用者（サラリーマン）であり、町外の事業所で就労している場合が多くなっています。このため、平日の日中に火災出勤や山岳遭難者の捜索等の要請があっても、地元にいる団員が少ないため、人員の確保が困難になっています。

また、各分団の団員数は分団によって18人から46人とばらつきがあり、日ごころの消防・防災活動のほか、消防訓練大会時の規律訓練への出場（21人必要）にも支障をきたしています。団員募集を行う場合、声掛けをする相手は分団の受け持ち区域内の人に限られることから、分団によっては団員が集まりにくいということもあります。



消防団の役割

消火活動・災害救助

火災発生時における消火活動、地震や風水害といった大規模災害発生時における救助・救出活動など、地域住民の安全・安心のため昼夜を問わず活動を行っています。

訓練・教育

消火活動に備えたポンプ操法の訓練や応急手当の仕方など、さまざまな訓練や教養を通して災害に対する知識や技術の向上に努めています。

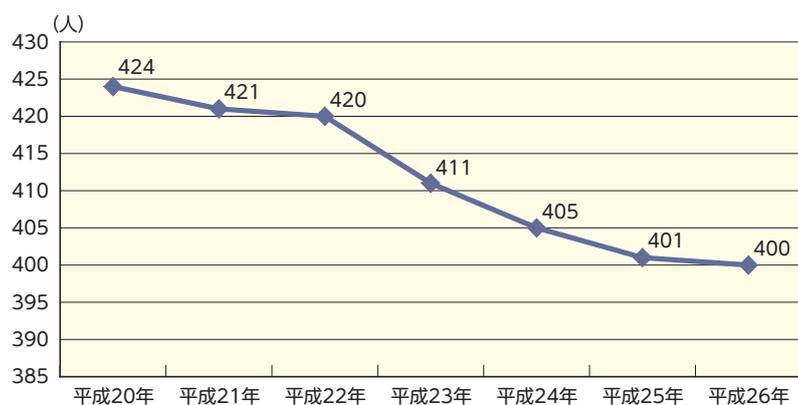
火災予防・広報活動

住宅訪問による防火指導やポンプ積載車での地域巡回など、火災が起こるのを未然に防ぐ防災活動も消防団の大切な活動です。

地域との連携

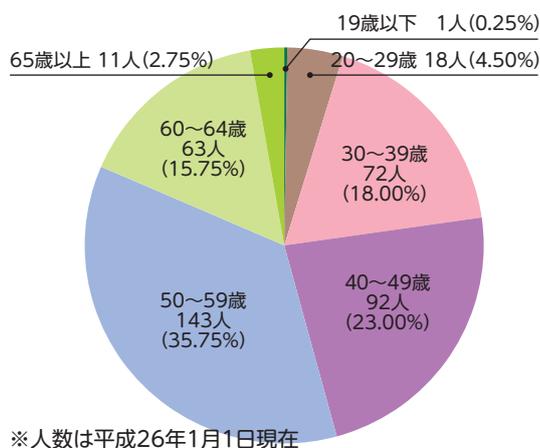
地域とのつながりの深い消防団は、自主防災組織や地域の見守りチームなどと連携し、地域防災力の強化を図っています。

グラフ1◎美郷町消防団員数の推移



※各年の人数は1月1日現在

グラフ2◎美郷町消防団員の年齢構成



※人数は平成26年1月1日現在

平成26年
4月から

旧町村ごとに3分団に再編 消防団を14分団から9分団に!

再編のメリット

平日の災害対策

各分団の団員数が増加するため、平日に活動できる団員数も増加するなど、災害時の初動体制が強化されます。

人員確保が容易に

1分団当たりの団員数が増加するため、災害時、訓練時等の人員の確保が容易となります。また、受け持ち区域内の団員募集の範囲が広がるので、職場のつながりや友人関係など募集の声掛けの範囲も広がります。

■現行の分団構成

地区	分団名	団員定数
千畑地区	第1分団	30人
	第2分団	30人
	第3分団	30人
	第4分団	30人
	第5分団	30人
六郷地区	第6分団	30人
	第7分団	40人
	第8分団	45人
仙南地区	第9分団	30人
	第10分団	30人
	第11分団	30人
	第12分団	30人
	第13分団	30人
	第14分団	30人
団長		1人
副団長		2人
合計		448人

■平成26年4月以降

地区	分団名	団員定数
千畑地区	第1分団	46人
	第2分団	44人
	第3分団	60人
六郷地区	第4分団	60人
	第5分団	40人
	第6分団	45人
仙南地区	第7分団	46人
	第8分団	44人
	第9分団	60人
団長		1人
副団長		2人
合計		448人